

平成23年度

事業計画及び収支予算書



財団法人 国際交通安全学会

目 次

平成23年度事業計画の重点	1
事業計画	
I. 調査研究事業	2
II. シンポジウム事業	3
III. 広報及び出版事業	3
IV. 褒賞及び助成事業	3
V. IATSSフォーラム事業	4
VI. 国際交流事業	4
収支予算書	5

平成23年度 事業計画の重点

今年度の目的は、理想的な交通社会の実現に寄与することとし、以下の事業を行う。

- I 交通及びその安全に関する調査研究
- II 交通及びその安全に関する研究会の開催
- III 交通及びその安全に関する情報、資料及び文献の収集及び発行
- IV 交通及びその安全に関する調査研究、教育その他の活動に対する褒賞及び助成
- V 諸外国における理想的な交通社会実現に向けた研修
- VI その他本会の目的を達成するために必要な事業

展開にあたっては、次の項目を重点に置くものとする。

- 1 学際性並びに国際性を特徴としての、先見性及び実際性を目指す活力ある事業運営を継承する。
- 2 調査研究事業を重点事業として、シンポジウム事業、広報出版事業、褒賞助成事業、及びその他の本会の目的を達成するために必要な事業との連携をはかる。
- 3 諸外国における理想的な交通社会実現に向けた研修としてのIATSSフォーラム事業については、アセアン諸国の将来を担う人材の育成を目的として、プログラムの充実をはかる。
- 4 社会及び経済環境を直視した事業規模とし、予定される収入を基に効率的かつ均衡のとれた事業運営を継続する。

平成23年度 事業計画

項 目	予 算 (円)
<p>I. 調査研究事業</p> <p>1. 次の方針を維持して運営する。</p> <p style="padding-left: 2em;">1) 本会の目的である理想的な交通社会の実現に寄与するという原点にたち、特徴である学際的かつ国際的な調査研究テーマに取り組む。</p> <p style="padding-left: 2em;">2) 調査研究の成果については、社会への発信に加え、実践及び具現へ向けての提言を積極的に行い、交通社会のより良い発展に貢献することを目指す。</p> <p>2. 10前後の研究テーマを展開する。</p> <p>3. 今後の調査研究活動に向けた基礎情報の整備を目指して、交通及びその安全に関わる海外先進事例の調査を継続実施する。</p> <p>4. 海外未着手地域との連携に基づいた調査研究事業の導入をはかる。初年度として、将来急激な交通事故増加が予測される地域から一か国を対象として調査研究活動に着手する。</p> <p>5. 定例の報告会に加え、完了した調査研究活動の成果を個別に発信する機会と手段を検討し、積極的な対外発表を展開する。</p>	<p>145,433,000</p>

項 目	予 算 (円)
<p>Ⅱ. シンポジウム事業</p> <p>学会内外の交通及びその安全に関わる研究者の交流の場として、シンポジウムを開催する。</p>	21,153,000
<p>Ⅲ. 広報及び出版事業</p> <p>国内外における研究活動の成果の発表並びに会員及び海外を含む研究者・学識経験者の交通及びその安全に関しての知識交流の場を広く提供することなどを目的に、次の広報および出版事業を適正な規模で展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「IATSS Review：国際交通安全学会誌」を刊行する。 2. 「IATSS RESEARCH：英文論文集」を学術サイトを活用して電子ジャーナルを出版する。 3. その他、調査研究成果及び広報資料を発行する。 	41,646,000
<p>Ⅳ. 褒賞及び助成事業</p> <p>交通及びその安全に関する「論文」「業績」「著作」の各部門を授賞対象部門として褒賞を行う。</p>	9,300,000

項 目	予 算 (円)
<p>V. IATSSフォーラム事業</p> <p>次に掲げる諸プログラムを適正な規模で展開する。</p> <p>1) 9月24日から11月12日の期間、第48回IATSSフォーラムを開催する。</p> <p>参加国 (各2名×9カ国) カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム</p> <p>2) 4月29日から5月1日の期間、第6回国際同窓会をカンボジアにおいて開催する。</p> <p>3) 研修終了後の各国同窓生会による自主活動の活性化を目指して現地での直接対話機会増をはかる。</p>	152,687,000
<p>VI. 国際交流事業</p> <p>海外の交通及びその安全に関わる研究者及び諸団体等との交流を継続する。</p> <p>1. 日本及び海外の若手研究者・学生を主体とした、交通領域の国際的なワークショップを開催し、その討議内容と成果を国内外に発表する機会を設定する。</p> <p>2. 海外招待会員制度及び海外名誉顧問制度を活用し展開する。</p> <p>3. アセアン地域における交通事故急増に対する各国への支援を視野にいれ、タイにおけるATRANSの活動を支援する。</p>	54,101,000